

自治体の課題、現状

○現在、古河市の運動部活動は、112部活(男子59部活、女子53部活)が活動している。市内小中学校では生徒数の減少に伴い、部活動を生徒に望ましい形で継続していくことが厳しい状況にあります。

○生徒がスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保と、学校における働き方改革の実現を図る観点から、学校部活動を地域クラブ活動に段階的に移行していきます。

地域スポーツクラブ活動等の概要

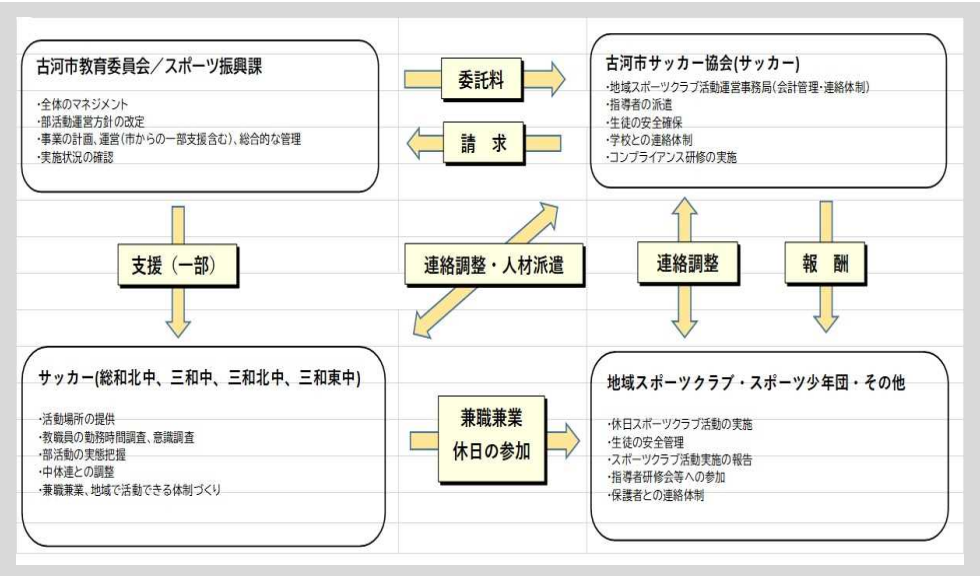
中学校数	9 校	全生徒数	3,029 人
域内の部活動数	112 部	実施した地域クラブ数	1クラブ(4校)
運営団体	古河市サッカー協会 (古河シティFC)		
種目	サッカー		
平均的な活動回数	2回/月	年間平均参加生徒実数	15人/サッカークラブ
参加会費	300円/回	主な活動場所	小堤サッカー広場

地域移行関連の取組、成果

○令和6年度から総和北中学校・三和中学校・三和北中学校・三和東中学校のサッカー部が地域移行の取り組みを始めました。

○運動部活動の地域移行に向けた環境づくりを段階的に増やし、市の目標年度(令和9年度末)までに「休日部活動を地域移行する」ため、R7年度においてもコーディネーターの配置を含む運営団体、実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業(国10/10)を活用し、古河市の地域移行を順次進めていく。

運営体制図



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

茨城県古河市

自治体名： 茨城県古河市
担当課名： 教育部 スポーツ振興課
電話番号： 0280-22-5111

本報告書は、スポーツ庁の「令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一貫として、茨城県が実施した「令和6年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果をとりとめたものです。

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	124 km ²
人口	139,812 人
公立中学校数	9 校
公立中学校生徒数	3,029 人
部活動数	112 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、古河市の運動部活動は、112部活(男子59部活、女子53部活)が活動している。

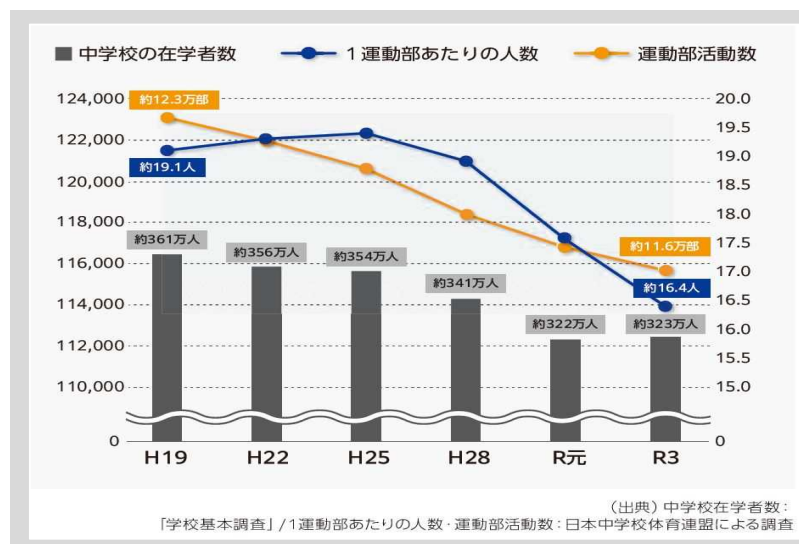
市内小中学校では生徒数の減少に伴い、部活動を生徒に望ましい形で継続していくことが厳しい状況にあります。

生徒がスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保と、学校における働き方改革の実現を図る観点から、学校部活動を地域クラブ活動に段階的に移行していきます。

古河市では休日(土・日・祝日)の部活動を段階的に地域クラブ活動へ移行します。

令和6年度から総和北中学校・三和中中学校・三和北中学校・三和東中学校のサッカー部が地域移行の取り組みを始めました。

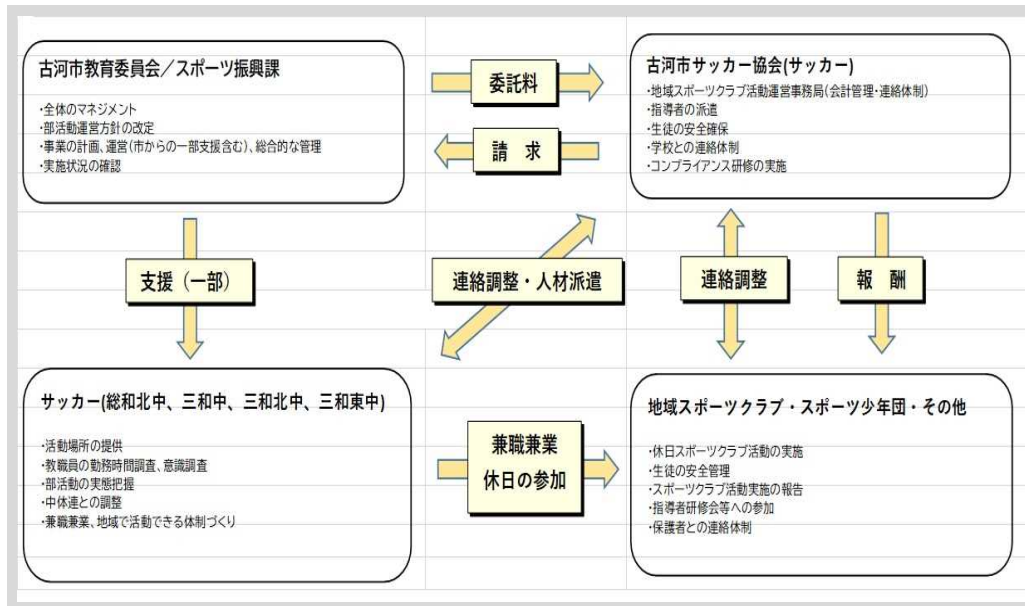
中学生の部活動は部活動数も部員も減少しており、このまま減少を続ければ、特にチーム競技は限界を迎える。
(全国的な問題)



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図(実証事業)



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・教育総務課・・・部活動改革の主幹、学校との調整・連携・学校に関する事項について
- ・指導課・・・学校との調整・連携・学校に関する事項について
- ・スポーツ振興課、文化振興課・・・中学生の地域スポーツ・文化活動の環境整備

◎首長部局

- ・財政課・・・予算措置

年間の事業スケジュール

令和6年4月	学校説明
令和6年5月	第1回調整会議(サッカー)
令和6年7月	第2回調整会議(サッカー)
令和6年8月～	地域サッカークラブ活動の実施
令和6年11月	第1回推進協議会
令和6年12月	第3回調整会議(サッカー)
令和7年1月	アンケート
令和7年2月	第2回推進協議会
令和7年3月	第4回調整会議(サッカー)

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	9校	実証事業を実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
サッカークラブ	サッカー協会	サッカー（新）	月 2 回（休日）	午前8時30分～午前11時30分	46人 （1年生26人、2年生20人）	R6.8月～R7.2月	小堤サッカー広場	4人	2人 （内、兼務2人）	1回300円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

③その他、活動実績(13回：延べ191名)

1回目：8/17(土) 30名 ①W-UP・アイスブレイク ②パス&コントロール ③ポジショニング ④ゲーム ※今回は「止める・蹴る」をテーマとしたトレーニング
2回目：8/21(水) 4名 Bridge of Dream Festival (古河市サッカー協会共催大会) 参加 ※1日目
3回目：8/22(木) 2名 Bridge of Dream Festival (古河市サッカー協会共催大会) 参加 ※2日目
4回目：9/14(土) 27名 ①W-UP ②ドリルトレーニング ③対人ドリブル ④ゲーム ※今回は「ドリブルの基本的技術の向上/ドリブルしながらプレーを判断する」をテーマとしたトレーニング
5回目：10/12(土) 16名 ①W-UP ②ドリルトレーニング ③対人ドリブル ④GKトレーニング ⑤ゲーム ※今回は「止める・蹴るの基本的技術の向上/スムーズに蹴るためのボールの置き所/足の使い方」をテーマとしたトレーニング
6回目：10/26(土) 16名 ①W-UP ②ドリルトレーニング ③対人ドリブル ④GKトレーニング ⑤ゲーム ※今回は「ドリブルの基本的技術の向上/ドリブルから次のプレーを判断する」をテーマとしたトレーニング
7回目：11/9(土) 16名 ①W-UP ②ドリルトレーニング ③対人ドリブル ④GKトレーニング ⑤ゲーム ※今回は「ボールを止める・蹴るの基本的技術向上/ボールの受け方(オフザボール)」をテーマとしたトレーニング
8回目：11/23(土) 8名 ①W-UP ②パス&コントロール ③シュートゲーム ④ゲーム ※今回は「ボールを止める・蹴るの基本的技術向上/ボールの受け方(オフザボール)」をテーマとしたトレーニング
9回目：12/7(土) 20名 ①W-UP ②ドリルトレーニング ③対人トレーニング ④ゲーム ※今回は「ドリブル時の次のプレーの判断/ドリブルの基礎的技術向上(復習)」をテーマとしたトレーニング
10回目：12/21(土) 22名 ①W-UP ②ドリルトレーニング ③対人トレーニング ④ゲーム(※希望者はGKトレーニング) ※今回は「ゴール前の攻防」をテーマとしたトレーニング
11回目：1/26(日) 10名 ①W-UP ②ドリルトレーニング ③対人トレーニング ④ゲーム(※希望者はGKトレーニング) ※今回は「運ぶ・状況判断」をテーマとしたトレーニング
12回目：2/2(日) 10名 ①W-UP ②ドリルトレーニング ③対人トレーニング ④ゲーム(※希望者はGKトレーニング) ※今回は「ドリブルの判断・ボールの持ち方の判断」をテーマとしたトレーニング
13回目：2/16(日) 10名 ①W-UP ②ドリルトレーニング ③対人トレーニング ④ゲーム(※希望者はGKトレーニング) ※今回は「運ぶ・状況判断」をテーマとしたトレーニング

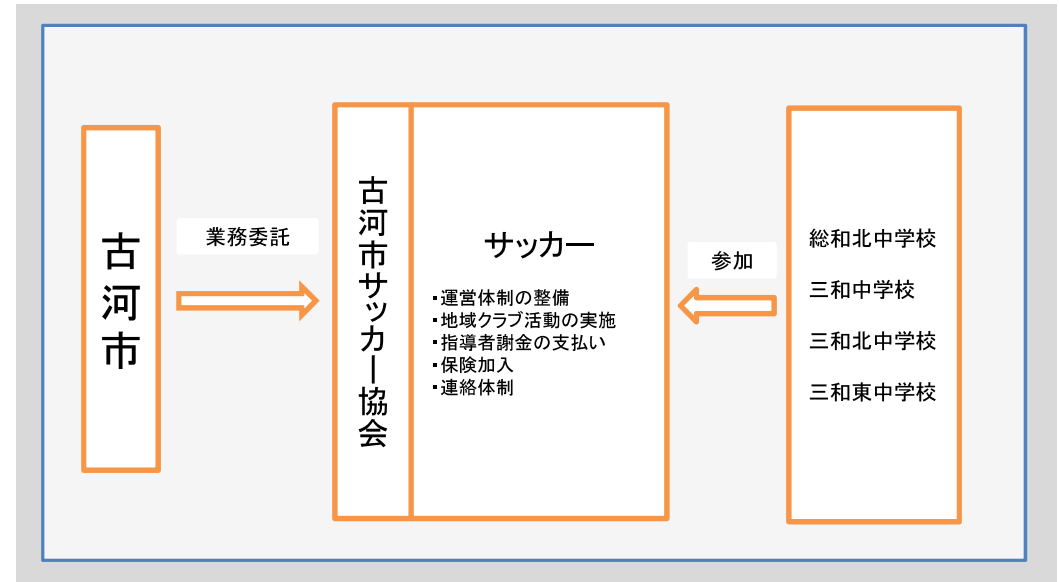
2.実証内容と成果

主な取組例

●R6実証事業 地域スポーツクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー
運営団体名	古河市サッカー協会 (古河市地域サッカークラブ)
期間と日数	R6.8月7日 ～ R7.2月16日 月2回程度 (計13回)
指導者の主な属性	古河シティFC (古河市サッカー協会)
活動場所	小堤サッカー広場 他
主な移動手段	自転車 自家用車(保護者等による送迎)
1人あたりの参加会費等 (1回)	サッカー：300円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：活動における管理者として、学校、保護者との連携を行う

●主任指導者 1名

役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う

●指導・運営補助者 3名

役割：活動において、主任指導者の補助として指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○広域的な活動を行うコーディネーターを1名配置し、中学校・関係団体・市教育委員会との連絡調整・指導助言等を行う。

○運営団体・実施主体の運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。

○参加者管理、会費徴収、参加者・保護者・指導者への連絡、会場の確保・調整、会計業務を行う。

取組の成果

○コーディネーターを運営団体に配置したことにより、中学校・関係団体との連絡調整・会議運営等を円滑に行うことができた。

○アプリの活用により、参加者・保護者・指導者への連絡体制が円滑に行うことができた。

また、利用者アンケートの結果、回答者の約90%の満足度を得ることができた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

○合計181h

R6.5月(3h)、R6.6月(8h)、R6.7月(11h)、R6.8月(31h)、
R6.9月(10h)、R6.10月(18h)、R6.11月(24h)、R6.12月(28h)、
R7.1月(17h)、R7.2月(31h)

今後の課題と対応方針

○公的支援の対象とする地域クラブの基準がないため、今後、都道府県が示した地域スポーツクラブ活動の要件等を踏まえ、要件や基準等を調整して設定し、登録・指導等を実施する必要がある。

○コーディネート業務を担う人材の発掘・育成・資質向上を図る方策の検討を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

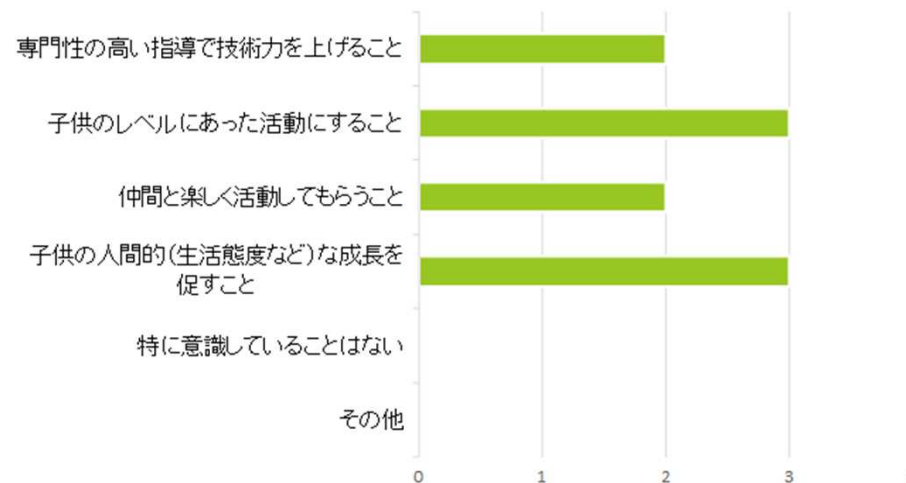
●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

指導者研修会の内容

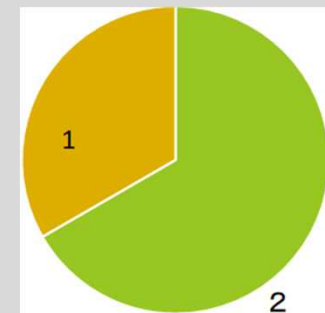
○指導者等に対して、資質の向上を含めた研修の開催はできなかったが、持続可能な運営体制を構築するためにアンケートを実施した。

指導者アンケートの結果

どのようなことを意識しながら地域サッカークラブの実証事業活動での指導にあたっていますか。あてはまるものをすべて回答してください。

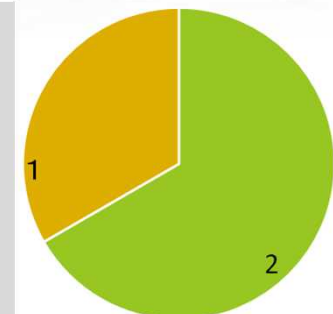


スポーツ指導に関わる資格を取得する予定はありますか。



■すでに取得している
■取得中/取得予定である
■取得する予定はない

審判資格を取得する予定はありますか。



■すでに取得している
■取得中/取得予定である
■取得する予定はない

出典：古河市地域サッカークラブ アンケート調査

今後の課題と対応方針

○アンケート結果を踏まえて、指導者研修を必須とするか検討し、今後どの水準まで質を求めるかについては、検討する必要がある。

○平日と休日の指導者間の効率的・効果的な連携方策について検討する必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○学校と連携して進めていくため
中学校の校長会やスポーツ協会、
スポーツ少年団、スポーツ推進
委員会等において、市の取り組
み及び今後の見通し等の説明を
実施した。

取組の成果

○中学校校長会やスポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員会等において説明し、協力を求めることで、市内中学校のすべての生徒や関係団体に事前周知やチラシの配布を行うことができた。

○地域のスポーツ団体(市サッカー協会)の協力を得て、当日運営の補助を行った。

○各運営主体が活動するときは、指導者が競技種目の指導のみに集中できるよう、会場の施設や事前準備、参加者の出欠確認などを行う運営補助を市サッカー協会で行い、地域一体となって運動部活動の地域移行に向けた環境づくりを進めた。

今後の課題と対応方針

○競技団体や総合型地域クラブ、民間事業者等の多様な団体に参画してもらう必要があるため、更なる連携強化を図る。

○運営の効率化を図るため、引き続きアプリを活用した運営の周知を図っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

○R6年度より実証事業を開始したため、「画的・広域的な取り組み」は実施することが出来なかった。

今後の課題と対応方針

○運動部活動の地域移行に向けた環境づくりを段階的に増やし、市の目標年度(令和9年度末)までに「休日部活動を地域移行する」ため、R7年度においてもコーディネーターの配置を含む運営団体、実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業（国10/10）を活用し、古河市の地域移行を順次進めていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

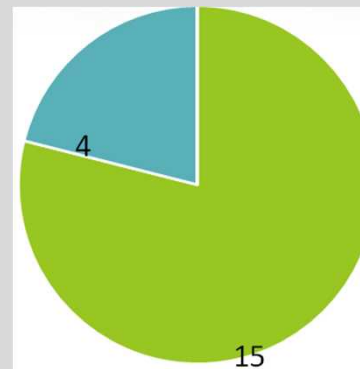
●取組項目名 オ：内容の充実

取組の成果

○R6実証事業に係る「アンケート調査」を実施し、生徒ニーズの把握に努めた。

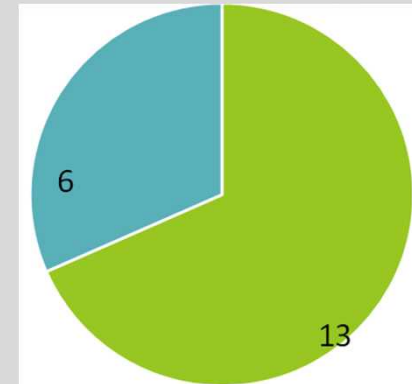
○R6実証事業に参加した中学生46名人を対象としたアンケートの結果、回答者の100%が、「地域サッカークラブ実証事業の活動は指導が充実している」、「自分に取り組んでいる競技に対する興味や意欲は増した」という結果となった。

指導が充実していますか。



■ そう思う
■ どちらかといえばそう思う
■ どちらかといえばそう思わない
■ そう思わない

自分に取り組んでいる競技(サッカー)に対する興味や意欲は増しましたか。



■ そう思う
■ どちらかといえばそう思う
■ どちらかといえばそう思わない
■ そう思わない

出典：古河市地域サッカークラブ アンケート調査

今後の課題と対応方針

○中学生を対象としたアンケート結果によると、「R6実証事業の活動にどれくらい参加していますか」という回答に、半分以上に参加しているという中学生が60%となった。 また、「次年度(R7)も参加したいですか」という

回答に、90%の中学生が次年度も参加したいと回答した。

引き続き、参加する中学生の拡充を図りながら、地域一体となって運動部活動の地域移行に向けた環境づくりを進めていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

○地域クラブの運営にあたっては、持続可能な仕組みづくりを行っていく必要があることから、実証事業における収支構造の可視化を行い、適切な受益者負担額の設定や、公的資金のバランスについて検証を行った。

地域クラブに係る経費 (913,556円)

■イニシャルコストの分析

・事務用品 (3,322円)

■ランニングコストの分析

・指導者謝金 (230,400円)
・交通費 (17,760円)
・消耗品費 (613,084円)
・雑役務費 (140円)
・保険料 (48,850円)

持続的な運営に必要な受益者負担額

○受益者負担 (57,300円) ※1回300円

①8/17(土) 300円×30人=9,000円

②8/21(水) 300円×4人=1,200円

③8/22(木) 300円×2人=600円

④9/14(土) 300円×27人=8,100円

⑤10/12(土) 300円×16人=4,800円

⑥10/26(土) 300円×16人=4,800円

⑦11/9(土) 300円×16人=4,800円

⑧11/23(土) 300円×8人=2,400円

⑨12/7(土) 300円×20人=6,000円

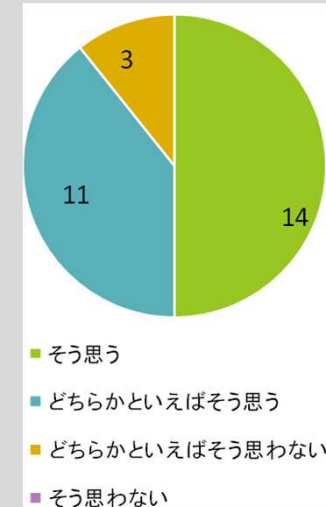
⑩12/21(土) 300円×22人=6,600円

⑪1/26(日) 300円×10人=3,000円

⑫2/2(日) 300円×10人=3,000円

⑬2/16(日) 300円×10人=3,000円

現在の地域サッカークラブ実証事業活動に支払う参加費 (1回300円) は妥当だと感じますか。



出典：古河市地域サッカークラブ アンケート調査

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

○運営主体の収支構造を3つに分けて検証を行いました。

・「スポーツ活動費(保険料)」については、生徒の保護者等や指導者自らが負担するべきものとする。

・「スポーツ活動費(消耗品費)」、「事務局運営費」については、クラブが準備するもの、生徒へ直接的に支援している経費ではないので、国費や市の自主財源等を活用する。

・「スポーツ活動費(消耗品費、保険料除く)を受益者の対象に検証を行っていくこととする。

○受益者負担の設定額においては、R6実証事業では「1回参加すること」に負担する方法で検証した結果、「1回参加すること」に負担を求めると参加率が低調なこともあって、受益者負担の額が非常に大きくなるとともに、収益の見込みがつかないことから、運営主体において持続可能な運営は困難になると思われる。

		決算額	割合	
スポーツ活動費	諸謝金	230,400	23%	⇒ ★受益者負担
	旅費・交通費	17,760	2%	⇒ ★受益者負担
	消耗品費	616,406	61%	⇒ 公費負担
	雑役務費	140	0%	⇒ ★受益者負担
スポーツ活動費(保険料)	保険料	48,850	5%	⇒ 自己負担
事務局運営費	一般管理費	90,000	9%	⇒ 公費負担
総 計		1,003,556	100%	

出典：R6古河市地域サッカークラブ 収支内訳

今後の課題と対応方針

○スポーツ活動費に絞って、参加者に負担を求める場合であっても、一定の人数の参加がなければ賄えないことになり、持続可能性に視点を置いた時にあやうい。

○低廉な受益者負担を求めたうえで、少なからず企業の協賛や行政の支援が必要であるため、持続的に活動することを前提とした仕組みを構築する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

○今後、保護者等に負担が見込まれる受益者負担を低廉な額とすることや、生徒の安全を確保するため、学校体育施設を中心に実証事業の活動を実施するよう調整を行った。

○合同部活動を実施している中学校を訪問し、事業への協力及び施設の利用について調整を行った。

取組の成果

○合同部活動を実施している中学校を訪問し、理解を深めることで学校との繋がりを深めることができた。

※次年度以降の活動場所の理解を得ることができた。

○R6実証事業の活動場所については、全13回の活動(練習会)において公共施設(サッカー広場)を使用した。次年度以降は「学校施設」も取り入れながら、「公共施設」とともに活用していくことにする。

今後の課題と対応方針

○実証事業の活動日に部活動が行われている学校もあることから、引き続き、学校や教育委員会に部活動と実証事業の活動が競合しないよう、事業趣旨の理解等を求めていくこととする。

○今後、部活動の地域移行に伴い、地域クラブ活動の拠点となる学校体育施設を利用しやすい環境を整えるため、学校体育施設の利用調整に係る業務を運営主体に委託する方向で調整する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組（次年度の実証事業）

取組事項

○古河市が設定した目標「令和9年度末までに休日に教職員が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築する」を実行するため、次年度の実証事業について、中学校の校長会と調整(選定)を行った。

※R6.7/9、R6.8/1、R7.1/9

○中学校の校長会より決定された該当する中学校と運営主体を集め、事業への協力及び施設の利用等についての調整を行った。

取組の成果

○古河市が設定した目標年度(令和9年度末)までに「休日部活動を地域移行する」ため、令和7年度においてもコーディネーターの配置を含む運営団体、実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業(国10/10)を活用し、古河市の地域移行を順次進めていくことになった。

○校長会に市内中学校(運動部・文化部)「令和7年度実証事業の候補となる中学校及び部活動の種目の選出」を依頼した結果、「サッカー(継続)/野球(新規)」に決定した。

今後の課題と対応方針

○実証事業開始 R7年5月～(サッカー)
※継続(参加生徒の拡充を図ることが課題である)

○実証事業開始 R7年8月～(野球)
※新規(学校・生徒・保護者等の理解と協力が課題である)

2.実証内容と成果①

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

○古河市では休日(土・日・祝日)の部活動を段階的に地域クラブ活動へ移行すため、中学校の校長会やスポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員会等において、市の取り組み及び今後の見通し等の説明を実施した結果、令和6年度から総和北中学校・三和中学校・三和北中学校・三和東中学校のサッカー部が地域移行の取り組みを始めました。

○古河市が設定した目標年度(令和9年度末)までに「休日部活動を地域移行する」ため、令和7年度においてもコーディネーターの配置を含む運営団体、実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業(国10/10)を活用し、古河市の地域移行を順次進めていくことになった。

※校長会に市内中学校(運動部・文化部)「令和7年度実証事業の候補となる中学校及び部活動の種目の選出」を依頼した結果、「サッカー(継続)/野球(新規)」に決定した。

●成果の評価

○令和6年度から実施した実証事業(サッカー)を取り組み、生徒・保護者・教員・指導者からアンケートを行った結果、約8割の生徒から自分が取り組んでいる競技に対する興味や意欲が増して満足度を図ることができた。

○古河市が目標年度として掲げている「令和9年度末までに休日部活動を地域移行する」ために取り組む課題等も見えてきたため、令和6年度に実証事業を開始することができたことは評価できる。

●今後に向けて

○運動部活動の地域移行に向けた環境づくりを段階的に増やし、市の目標年度(令和9年度末)までに「休日部活動を地域移行する」ため、R7年度においてもコーディネーターの配置を含む運営団体、実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業(国10/10)を活用し、古河市の地域移行を順次進めていく。

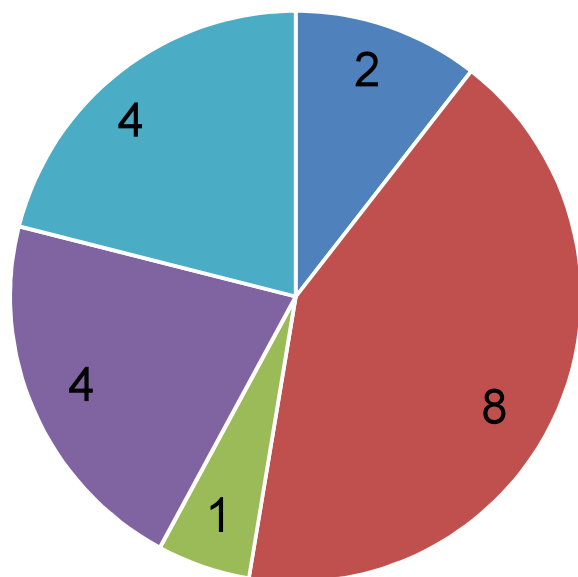
2.実証内容と成果②

R6実証事業（地域サッカークラブ）アンケート結果【生徒】



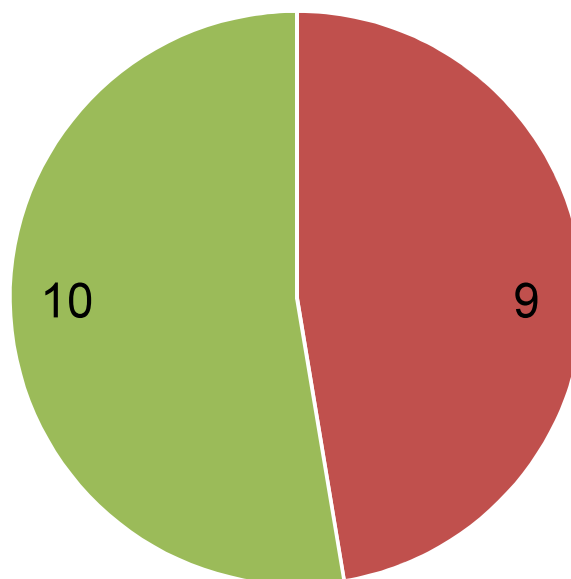
アプリ登録者46名 回答者19名（41.3%）※令和7年1月末現在

地域サッカークラブ実証事業の活動に
どれくらい参加していますか。



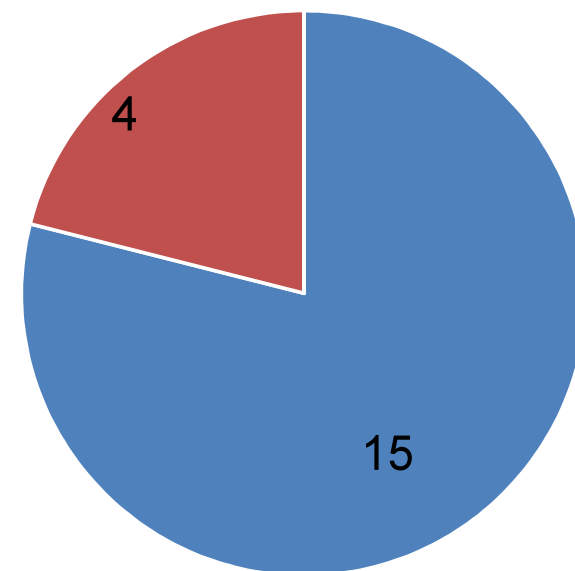
- 毎回参加している(9割以上)
- だいたい参加している(7～8割程度)
- 半分くらい参加している(4～6割程度)
- あまり参加していない(2～3割程度)
- ほとんど参加していない(1割以下)

地域サッカークラブ実証事業の活動場
所までの移動手段は何ですか。



- 徒歩
- 自転車
- 自家用車(保護者等による送迎)
- その他

地域サッカークラブ実証事業の活動
は、指導が充実していますか。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

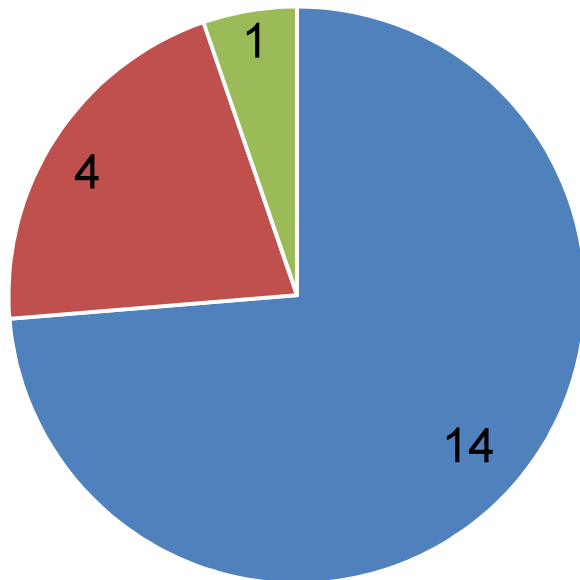
R6実証事業（地域サッカークラブ）アンケート結果【生徒】



入 学 庁

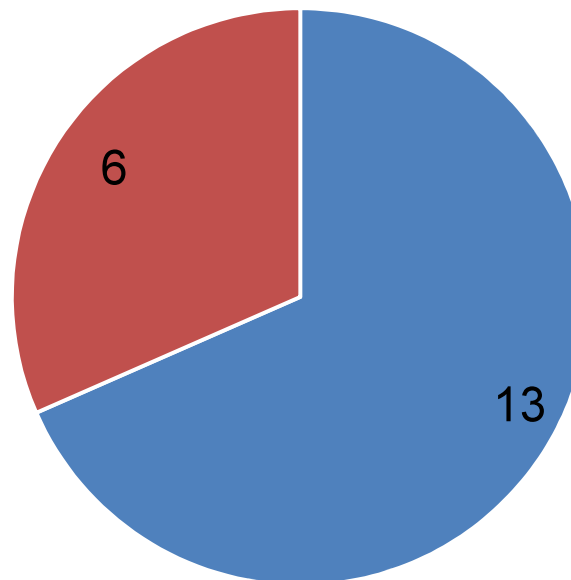
アプリ登録者46名 回答者19名（41.3%）※令和7年1月末現在

地域サッカークラブ実証事業の活動は体力や技術の向上につながっていますか。



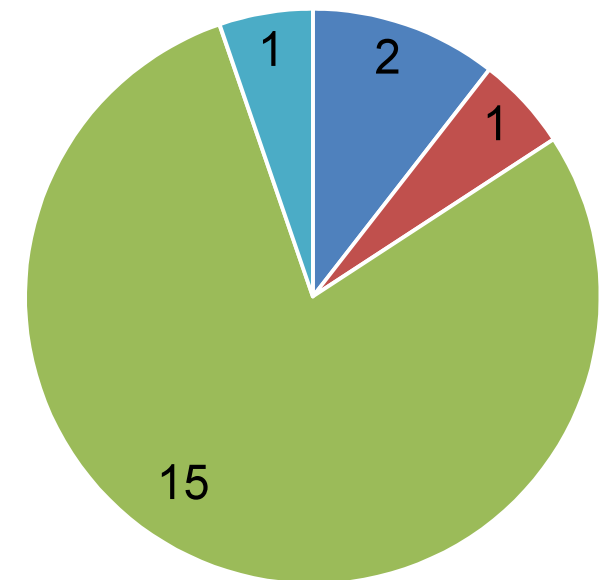
- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

地域サッカークラブ実証事業の活動により、自分に取り組んでいる競技（サッカー）に対する興味や意欲は増しましたか。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

現在の地域サッカークラブ実証事業の活動回数（月2回）は、どのように感じていますか。



- 多いと思う
- どちらかといえば多いと思う
- ちょうど良いと感じる
- どちらかといえば少ないと思う
- 少ないと思う

R6実証事業（地域サッカークラブ）アンケート結果【生徒】

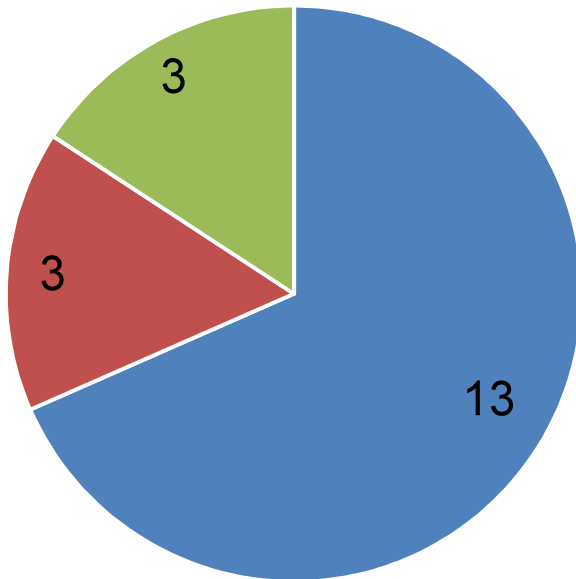


入 学 庁

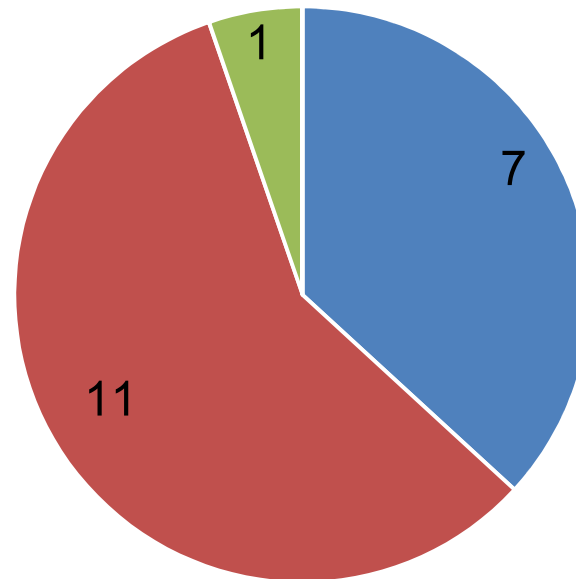
アプリ登録者46名 回答者19名（41.3%）※令和7年1月末現在

現在、地域サッカークラブ実証事業の周知方法として使用している「部活アプリ」の機能は使いやすいと思いますか。

地域サッカークラブの実証事業活動を、次年度(R7年度)も参加したいですか。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

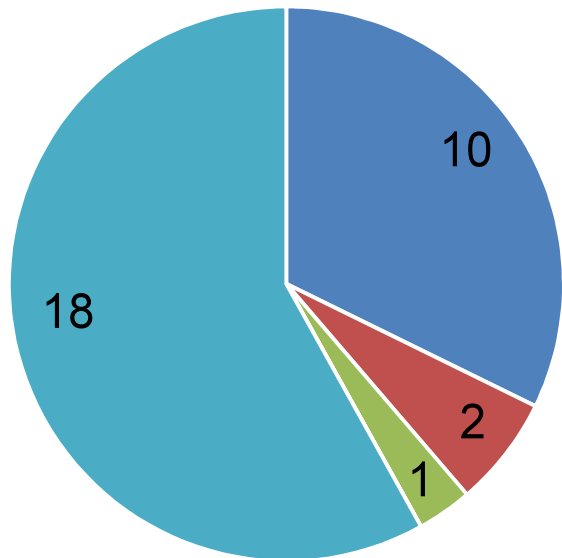


- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

R6実証事業（地域サッカークラブ）アンケート結果【保護者】

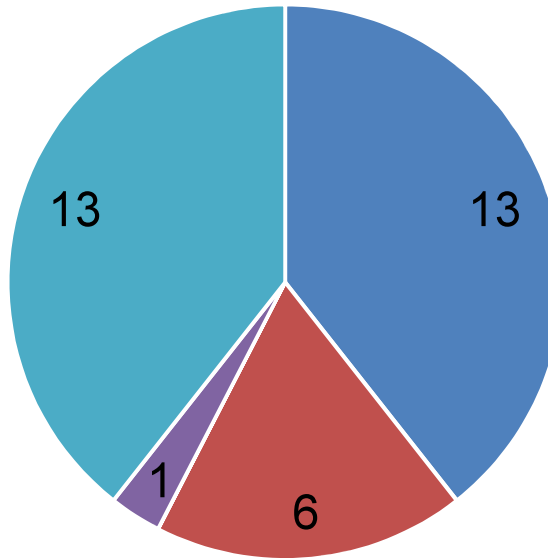
アプリ登録者40名 回答者28名（70%）※令和7年1月末現在

お子さんが地域サッカークラブの実証事業活動に参加するようになったことで、「新たに発生したもの」として当てはまるものをすべて教えてください。



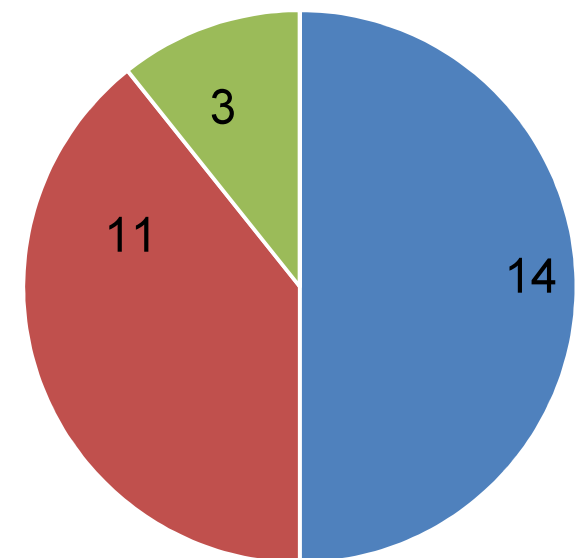
- 活動への送迎（自身のお子さんのみ）
- 活動への送迎（自身のお子さん以外も含めて）
- 活動への参加（見学/見守り）
- 保護者会への参加
- 特に発生しているものはない

お子さんが地域サッカークラブの実証事業活動に参加するようになったことで、「引き続き発生しているもの」として当てはまるものをすべて教えてください。



- 活動への送迎（自身のお子さんのみ）
- 活動への送迎（自身のお子さん以外も含めて）
- 活動への参加（見学/見守り）
- 保護者会への参加
- 特に発生しているものはない

現在の地域サッカークラブ実証事業活動に支払う参加費（1回300円）は妥当と感じますか。

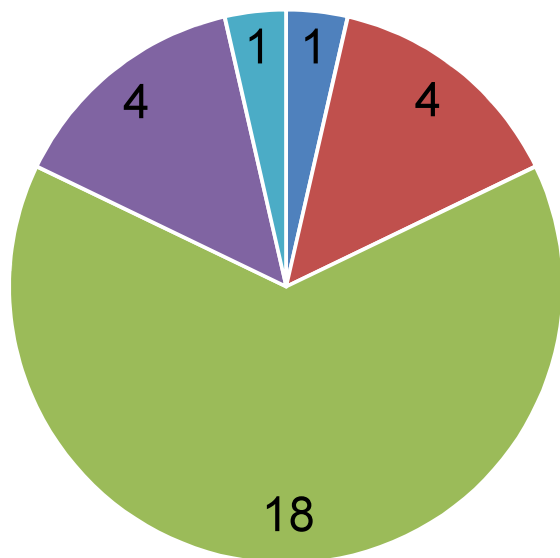


- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

R6実証事業（地域サッカークラブ）アンケート結果【保護者】

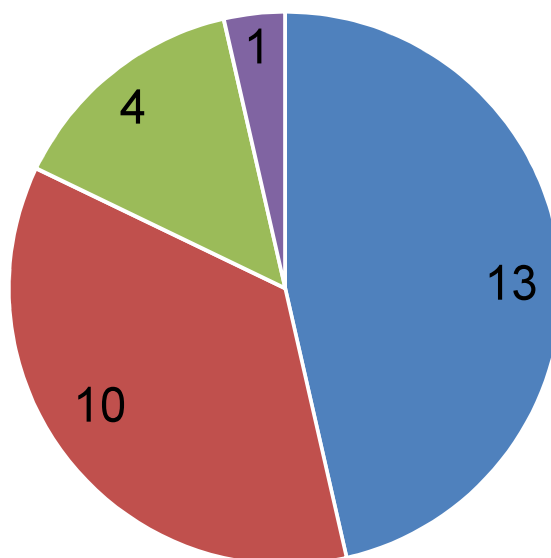
アプリ登録者40名 回答者28名（70%）※令和7年1月末現在

現在の地域サッカークラブ実証事業の活動回数（月2回）は、どのように感じていますか。



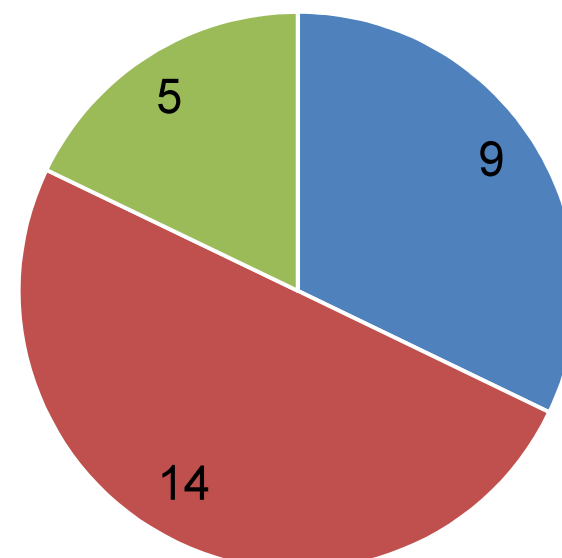
- 多いと感じる
- どちらかというとき多と感じる
- ちょうど良いと感じる
- どちらかというとき少と感じる
- 少ないと感じる

現在、地域サッカークラブ実証事業の周知方法として使用している「部活アプリ」の機能は使いやすいと思いますか。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

現在の地域サッカークラブ実証事業の活動回に対する満足度を教えてください。



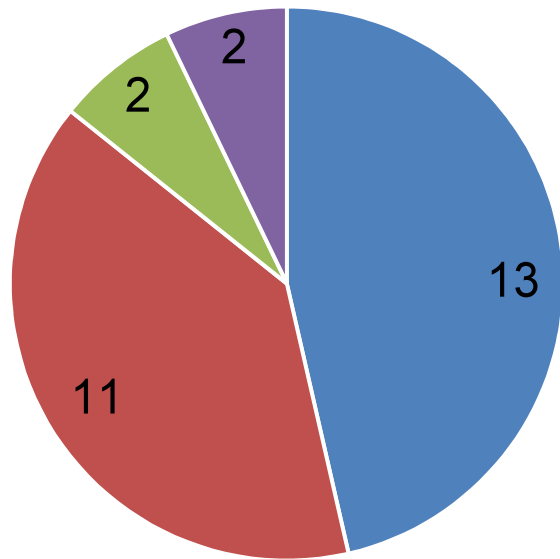
- 満足している
- どちらかというとき満足している
- どちらかというとき不満である
- 不満である

R6実証事業（地域サッカークラブ）アンケート結果【保護者】

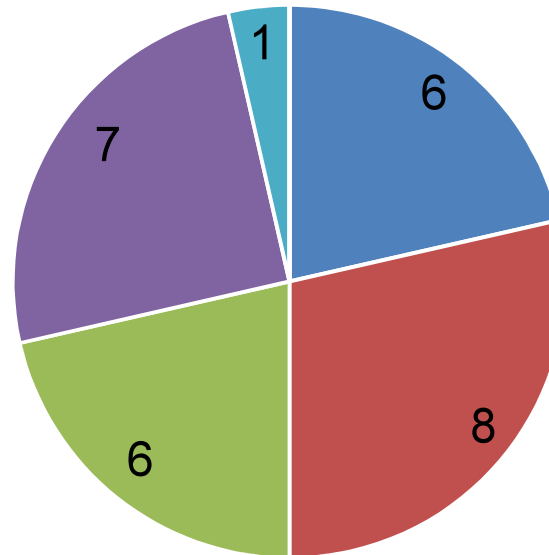
アプリ登録者40名 回答者28名（70%）※令和7年1月末現在

地域サッカークラブの実証事業活動を、
次年度（R7年度）も参加したいですか。

お子さんの学校以外の教育（学習塾/習い
事）にかかる1ヵ月あたりの平均支出はど
のくらいですか。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない



- 0円
- 1円以上5,000円未満
- 5,000円以上10,000円未満
- 10,000円以上20,000円未満
- 20,000円以上30,000円未満
- 30,000円以上

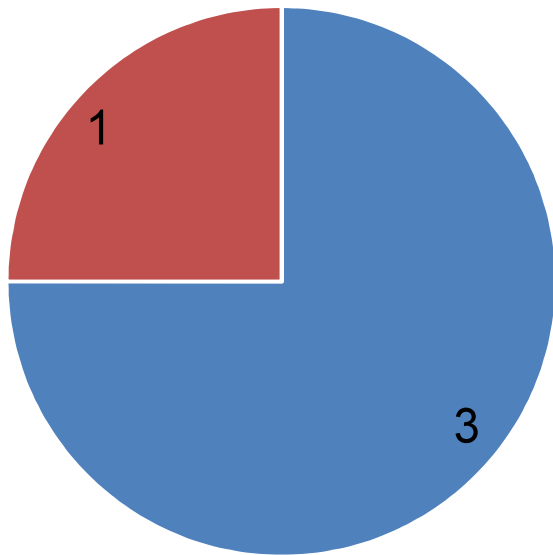
R6実証事業（地域サッカークラブ）アンケート結果【教員】



入 学 庁

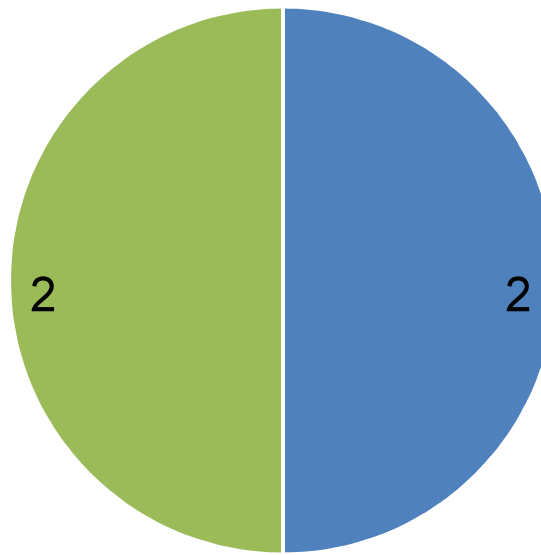
アプリ登録者4名 回答者4名（100%）※令和7年1月末現在

あなたのスポーツ実施歴として、もっともあてはまるものを回答してください。



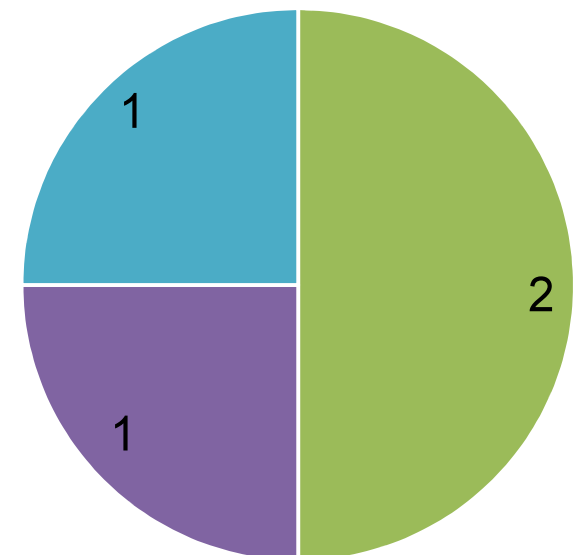
- 顧問を務める種目を実施している
- 顧問を務める種目は実施していなかったが、多種目を実施していた
- スポーツは実施していなかった

あなたはスポーツ指導にかかわる資格を取得していますか。



- 取得している
- 現在資格を取得していないが取得予定である
- 取得予定はない

地域サッカークラブの実証事業活動により、学校教員として実施する学校部活動の業務量に変化はありましたか。



- 増えた
- やや増えた
- 変わらない
- やや減った
- 減った

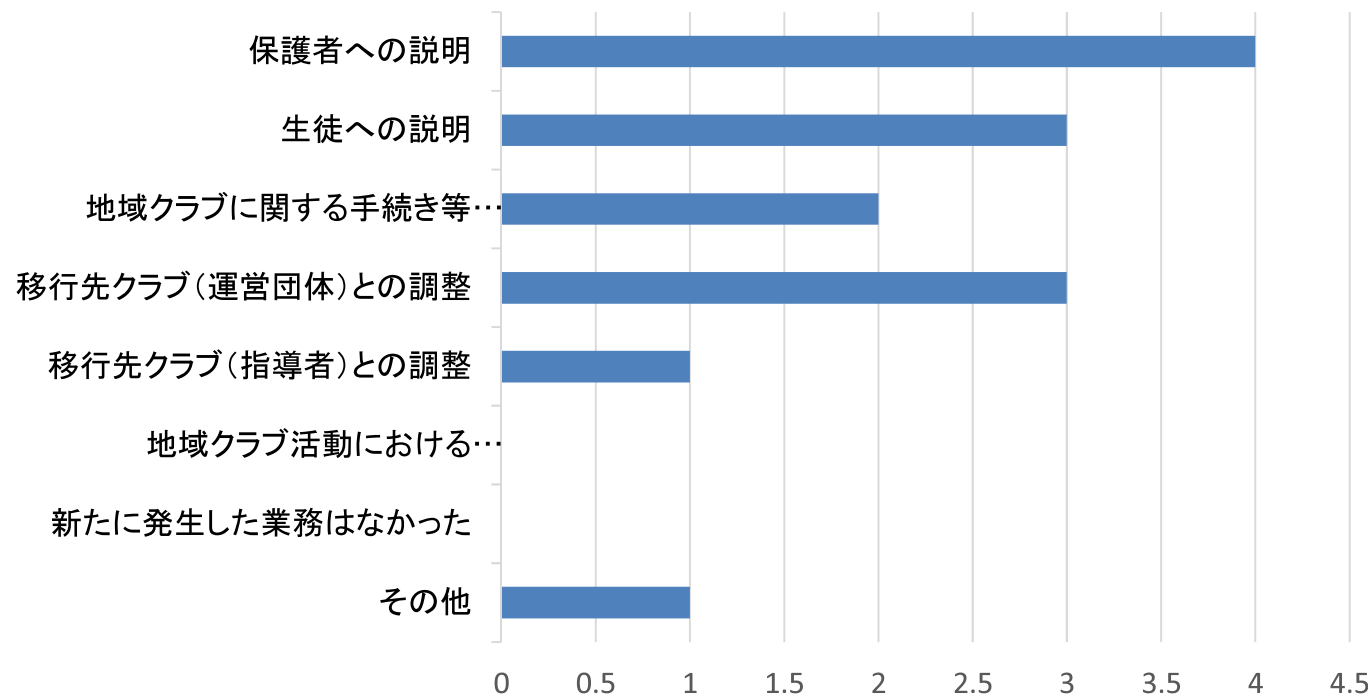
R6実証事業（地域サッカークラブ）アンケート結果【教員】



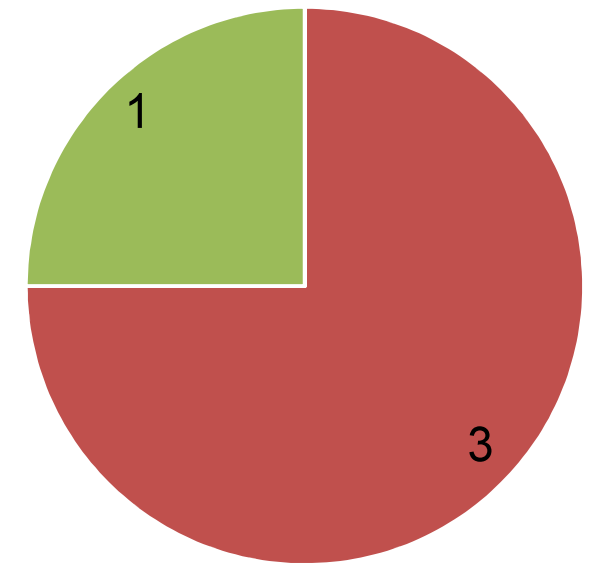
アプリ登録者4名 回答者4名（100%）※令和7年1月末現在

地域サッカークラブの実証事業への移行に伴って、新たに発生した業務としてあてはまるものをすべて回答してください。

部活動の地域クラブ活動への移行に対する満足度を教えてください。



その他：合同チームなので土日の活動を地域クラブへ移行すると合同練習の時間を取ることが難しく、ただ大会や練習試合をこなすだけになってしまう。



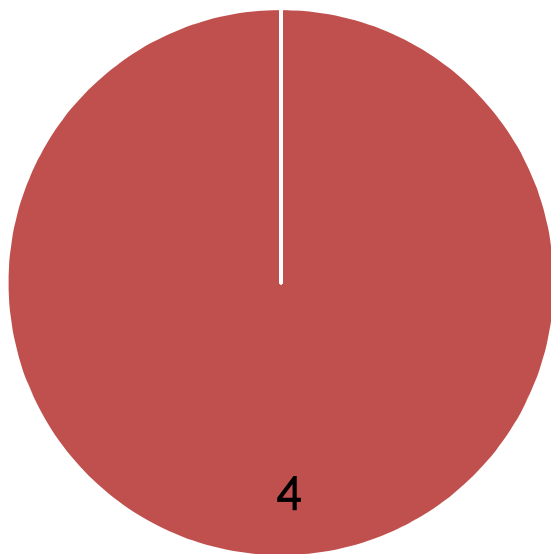
- とても満足している
- どちらかといえば満足している
- どちらかといえば不満である
- とても不満である

R6実証事業（地域サッカークラブ）アンケート結果【教員】



アプリ登録者4名 回答者4名（100%）※令和7年1月末現在

現在、地域サッカークラブ実証事業の周知方法として使用している「部活アプリ」の機能は使いやすいと思いますか。

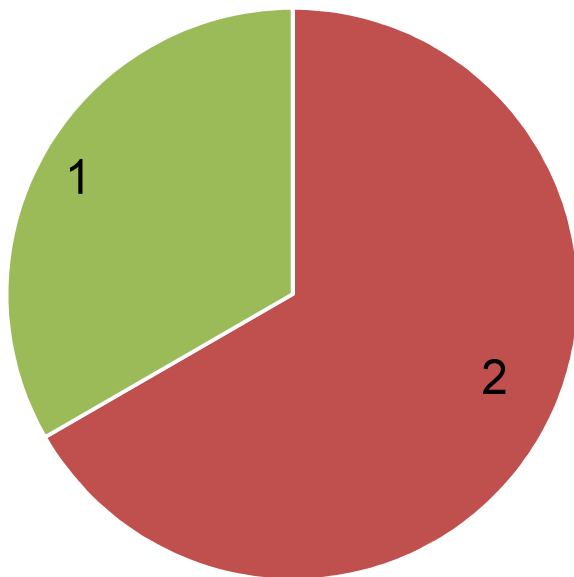


- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

R6実証事業（地域サッカークラブ）アンケート結果【指導者】

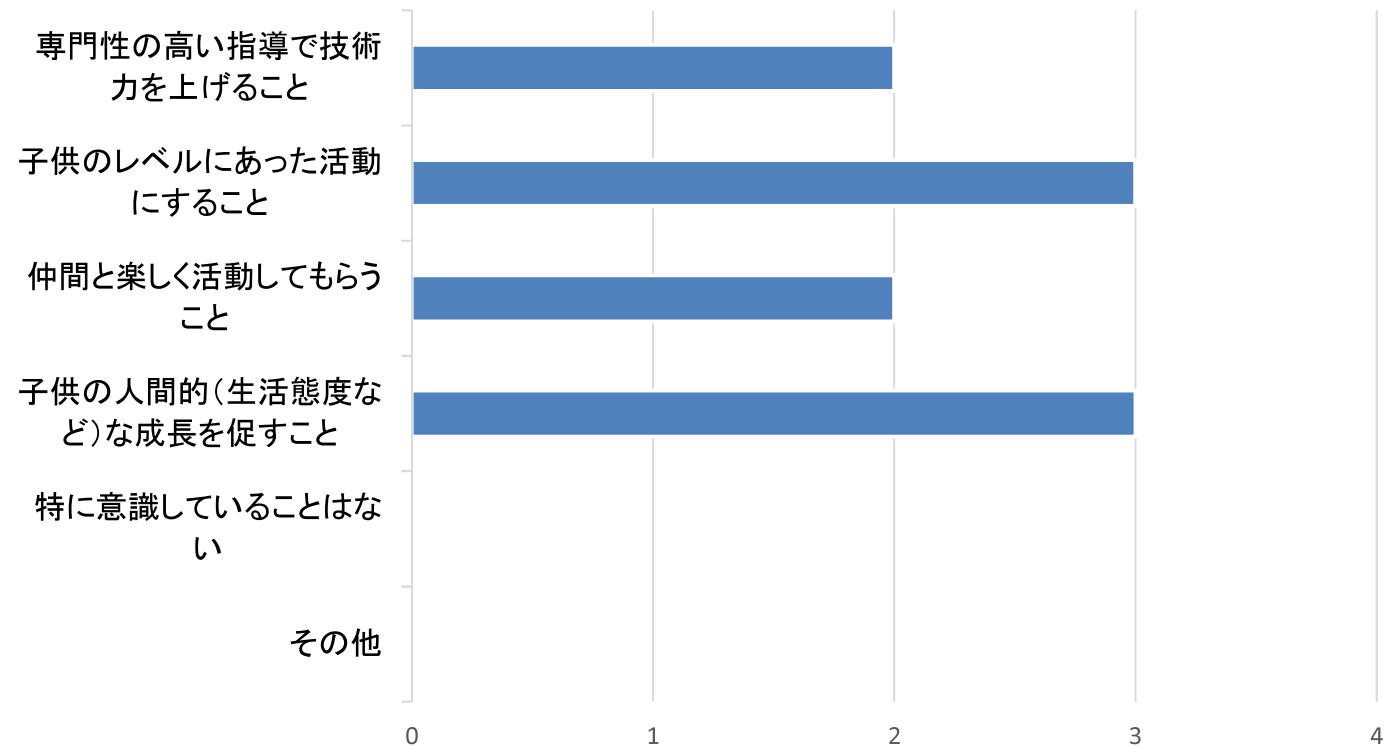
アプリ登録者4名 回答者3名（75%）※令和7年1月末現在

地域サッカークラブの実証事業活動の指導者報酬（1h/1,600円）は、妥当な金額だと思いますか。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

どのようなことを意識しながら地域サッカークラブの実証事業活動での指導にあたっていますか。あてはまるものをすべて回答してください。

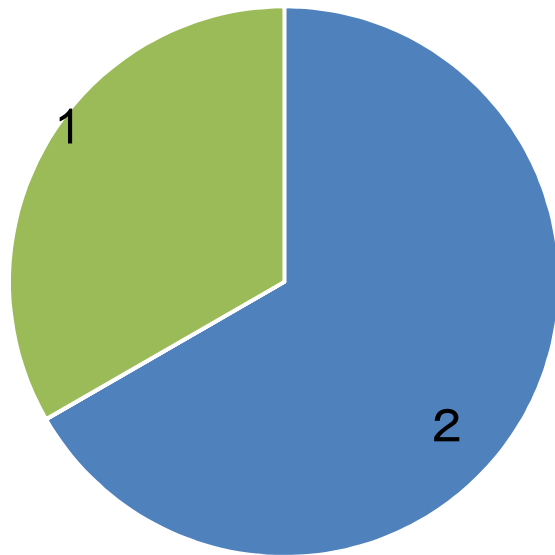


R6実証事業（地域サッカークラブ）アンケート結果【指導者】



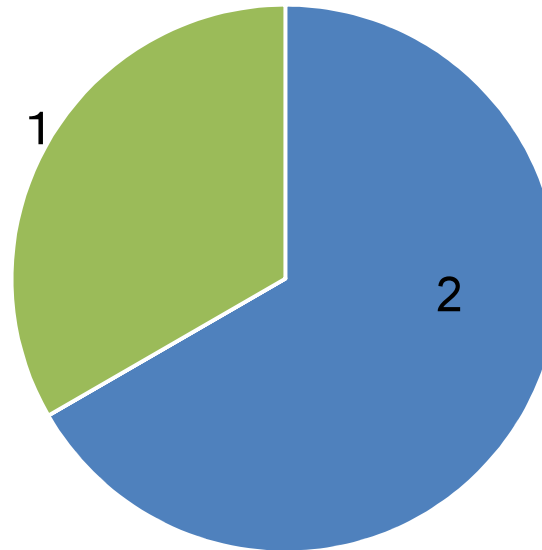
アプリ登録者4名 回答者3名（75%）※令和7年1月末現在

スポーツ指導に関わる資格を取得する
予定はありますか。



- すでに取得している
- 取得中/取得予定である
- 取得する予定はない

審判資格を取得する予定はありますか。



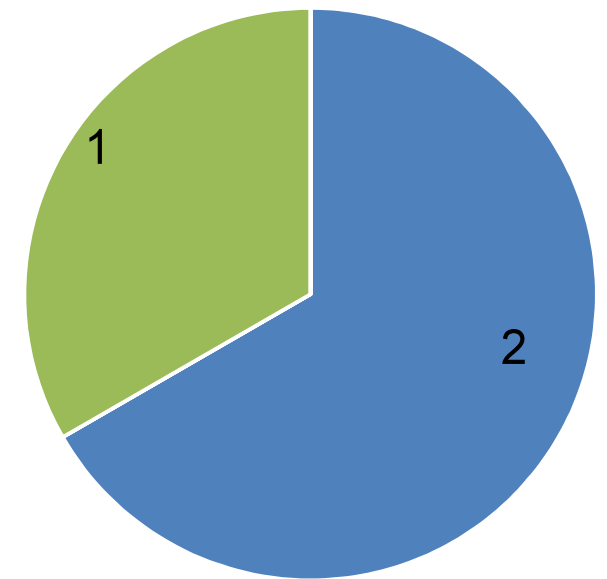
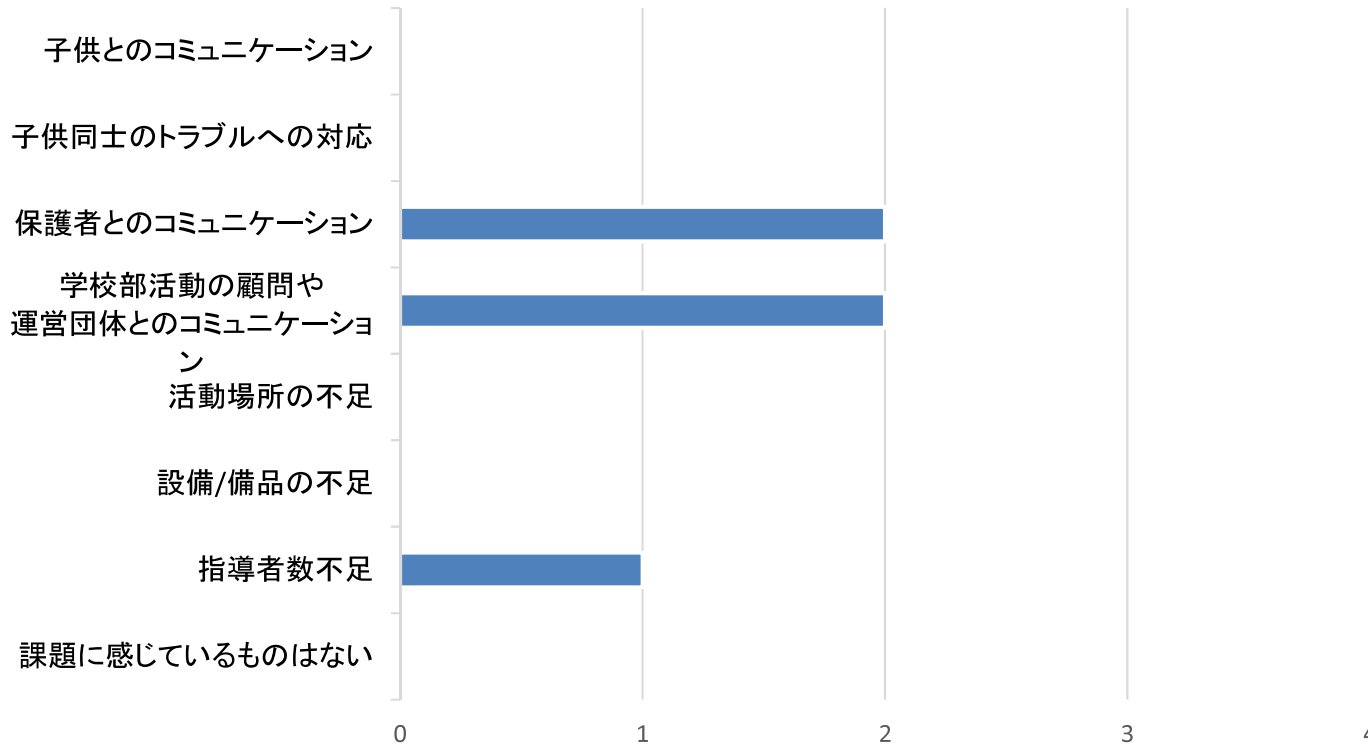
- すでに取得している
- 取得中/取得予定である
- 取得予定はない

R6実証事業（地域サッカークラブ）アンケート結果【指導者】

アプリ登録者4名 回答者3名（75%）※令和7年1月末現在

課題に感じているものをすべて回答してください。

現在、地域サッカークラブ実証事業の周知方法として使用している「部活アプリ」の機能は使いやすいと思いますか。



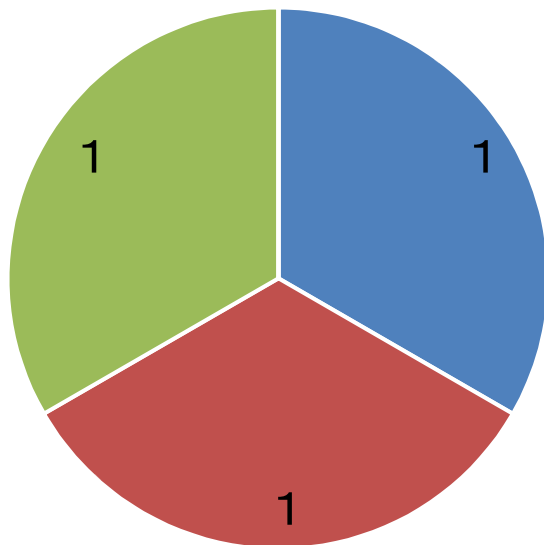
- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

R6実証事業（地域サッカークラブ）アンケート結果【指導者】



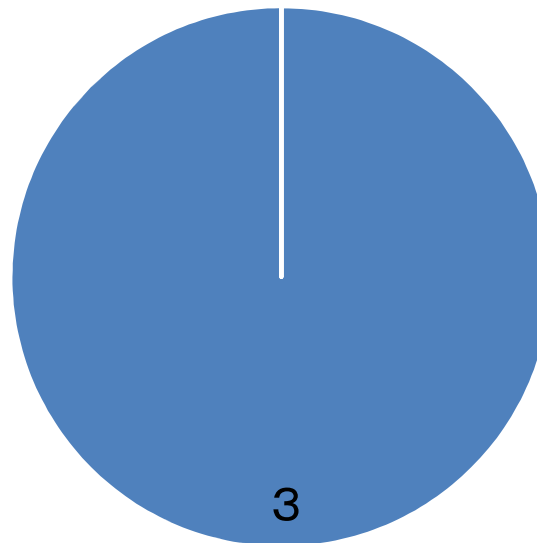
アプリ登録者4名 回答者3名（75%）※令和7年1月末現在

あなたは、現在の地域サッカークラブの実証事業活動に満足していますか。



- とても満足している
- どちらかといえば満足している
- どちらかといえば不満である
- とても不満である

今後も継続して指導を行いたいですか。



- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

R6実証事業（地域サッカークラブ）アンケート結果



地域サッカークラブの実証事業活動に対して、ご意見等があれば記入ください。

【生徒】

- ・他の中学校にも拡大してほしい。

【保護者】

- ・これから他の中学校にも拡大しつつ、古河市も「土日の部活動は廃止」する方針を早い時期にだしてほしいです。
- ・指導にあたるコーチの皆様には、お忙しい中市内の生徒たちにご指導いただきまして、感謝しております。
- ・以前、用事があったて休んだ時に、次に来なかったら先生に言うと言われたことがあったようで(子どもの話なので詳細は不明ですが)、学校からは強制ではないと説明を受けていたのに、このようなことがあり、不愉快と感じました。どうせやるなら、楽しい活動であって欲しいし、子どもたちにも、また行きたいと思わせるような努力も必要かもしれませんね。現状、そうは思っていないようですので。
- ・人数の少ない中学校なので、地域クラブで他の中学生のお友達との関わりがあるのは、とてもありがたいです。以前見学した際、短時間でも練習内容や指導法等、学校での部活の良さとはまた違い、とても良かったと感じました。
- ・子供が地域クラブの活動に参加することを、あまり歓迎していないようなので、活動内容の変更をしてはどうかと思います。

R6実証事業（地域サッカークラブ）アンケート結果



地域サッカークラブの実証事業活動に対して、ご意見等があれば記入ください。

- ・ 平日の学校での部活動との兼ね合い(指導方法、試合を見据えたチームとしての個々の連携など)をもっと方針を定めて
いってほしいなと思います。サッカーは特にチームスポーツなので、地域移行での練習がどのように活かせるのか、子供
たちが部活動と地域移行それぞれの活動で混乱するような事がなければいいなと思っています。地域移行の活動費に
ついては、今後負担が増えるようなら、部費も変わらず集金されていますのでそこから捻出、または部費を減額するな
どの対応もありかと思います。部費に関しては各中学校での判断かもしれませんが...ある程度地域移行の方から
指針を
示して頂けると話し合いやすいです。
- ・ 先生方の負担を減らすための取り組みとして専門家に指導して頂き、個の能力を高めチームに貢献すると良いと思いま
すが子供達に意図が伝わっていない様に感じます。部活が休みの日という位置付けなような…。人数が少ないから仕方
ないのでかもしれませんが学校単位で出来たなら参加率もあがり、各学校のチーム力が上がるのかもしれない
と。これ
が土日全てになるとますます部活離れがすすむような気がします。せっかくの良い取り組みなので子供達の為に
上手く
機能してくれたらと。勝手言ってすみません
- ・ 顧問の先生が未経験の方もいると思うのでこれからも練習を見てもらえると個々のレベルアップにつながると思
うので続
けていただきたいです。

R6実証事業（地域サッカークラブ）アンケート結果



地域サッカークラブの実証事業活動に対して、ご意見等があれば記入ください。

【教員】

- ・地域移行に向けて、古河市内の中学校全校でやらなければ意味がないと思います。単独でできるので参加しませんでした
足並みが揃わないのでどうなのかと思います。
- ・古河市の地域移行の実現のために、まずはサッカー部の地域移行が古河市全体に広がることを願います。

【指導者】

- ・様々な学校の子も達と一緒にトレーニングする上でコミュニケーションをとる場、技術向上の場としては良い
と思ってい
る。ただ、子ども達が目指す目標値のズレに差があると感じています。高校サッカーに繋がるために励んでる子
どもがい
れば、遊びの延長で参加している子どもがいたり方向性をどこに定めるかが難しいと感じています。今後も規
模を大き
くしていくにつれて上記の点もさらに感じてくる部分ではあると思います。また、保護者への理解も必要だと思
います。部
活動移行実証事業と伝えられてグラウンドに連れていくけど、実際なにが目的なのか。と感じている保護者が多
いと伺い
ました。実施する上で子ども達、保護者には実施前（年度切り替え前）には説明等必要ではないでしょうか。

2.実証内容と成果③

広報資料(R6.4月発行)

○古河市では休日(土・日・祝日)の部活動を段階的に地域スポーツクラブへ移行します。

令和6年度から「総和北中学校・三和中学校・三和北中学校・三和東中学校」のサッカー部が地域移行の取り組みを始めました。



【生徒・保護者への参加啓発チラシ(表)】

出典:古河市教育委員会



【生徒・保護者への参加啓発チラシ(裏)】

出典:古河市教育委員会

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



▲体験会前の受付



▲体験会の道具(一部)



▲指導者の話を熱心に聞く参加者



▲参加者にインタビュー

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

